

生活・総合的な学習分科会

I 研究のあゆみ

4月21日(月)	2025年度名教組教研オリエンテーション (2025年度名教組教育研究活動の進め方)	【教育館】
5月15日(木)	研究計画の検討	【鶴舞小】
5月中旬～6月中旬	個別指導 (第1次実践についての検討)	
6月17日(火)	研究内容の検討 (第2次実践についての検討と研究のまとめ方)	【鶴舞小】
7月16日(水)	レポートの検討とプレゼン資料のまとめ方	【鶴舞小】
7月中旬～9月中旬	個別指導	
9月20日(土)	第75回名古屋市小中特別支援学校教職員教育研究大会	【ウインクあいち】

II 研究協議の概略

生活科

- 個別最適な学びを意識して主体的に活動する実践
- 対話や伝え合いを通して気付きの質を高める実践
- 協働的な学びを通して、自分自身の成長に気付く実践

総合的な学習の時間

- 探究的な学習を通して、主体的に課題解決に取り組むことができるようにする実践
- 協働的な学びを通して、自己の成長に気づき、生き方を考える実践

III 今後に残された課題

生活科

- 生活科の学習では、「思いや願い」「体験」「準備」が大切である。今後の実践においても、子どもが学びへの思いや願いをもち続けることができるように、体験活動を充実させるとともに、教材・教具・環境の準備をしっかりと授業に臨んでほしい。

総合的な学習の時間

- 課題設定の仕方を工夫したり、振り返り活動を充実させたりして、学習に連続性をもたせることで、子どもが主体的に探究活動を繰り返すことができるようにするとよい。